



「ウーツ」というサイレンとともに、放水が始まりました。
いざという時、市民の財産と生命を守るために。
1月9日、今津浜で高島市消防団の斉放水訓練が行われました。

2月号
February

CONTENTS 目次

- たかしま はじめの一步…………… 2・3
- 高島市議会議員一般選挙および
高島市長選挙について…………… 4
- まちネタ写真館…………… 8・9
- そうだ、図書館に行こう…………… 10・11
- 情報お知らせ版…………… 12~17
- 2月の行事カレンダー…………… 22・23



Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
Mail Address
t-info@city.takashima.shiga.jp

広報たかしま 2005.2.1 発行

Takashima 2005 February No.2

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒580-1392 滋賀県高島市新保町北組569番地 ☎0740-55-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩

No.2

高島市の式内社

平安時代中期に書かれた古代法典の一つである『延喜式』全50巻の中には、「神名式」という古くからの神社の名前を記した巻があります。ここに収録されている神社は、式内社と呼ばれ、特に中世のころには神道の研究が盛んになったこともあって、格式の高さを誇りました。

「神名式」には、全国の3132座の神社が記されています。「座」とは神様の座るところ、という意味で、一つの神社に2座以上の祭神がまつられていることもありま

す。この式内社の地域的な分布をみると、近畿地方またはその周辺に多くの神社が集まっていることがわかりますが、その中でも、近江国すなわち滋賀県には155座

があり、これは、大和国、伊勢国、出雲国について多い数となっています。さらに、その近江国内で郡別にみると、もつとも多いのが46座のある伊香郡で、その次に多いのが34座のある高島郡、すなわち現在の高島市ということになります。なぜ、このように伊香郡や高島市に式内社が多いのか、確定的なことはわかっていませんが、



弓削神社(今津町梅原)



三重生神社(安曇川町常磐木)

北隣の越前国敦賀郡にも式内社が多いことなどから考えると、近江から越前にかけてを勢力基盤とした継体天皇政権と関係するともいわれています。

『延喜式』の成立から、すでに1000年以上



高島市

写真は、放水訓練を見つめる兄弟。大好きな消防車を寒い中、じっと見続けてました。



編集後記

▼高島市がスタートして1カ月が過ぎました。市役所の業務も新体制で動き始め、多くの市民の方が訪れてくださいます。そんな中で「市になって」用事が聞きにくくなった」とか「電話の愛想が悪くなった」と言われる方がいます。そんな時はどうかご意見をお寄せください。広報の役割はお知らせすることはもちろんですが「今、市民の皆さんが何を思っているか」を聞くことが大事なことで思っています。▼創刊号を見て大勢の方がご意見をくださいました。全部いっぺんにはなかなか難しいですが、教えてもらったこと、良い方向に変えていきます。皆さんの声をお聞かせください。(広報担当)

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています。